神奈川県議会議員 西村くにこ

県政報告

発行：2023年9月

［プロフィール］2011年神奈川県議会（川崎区）に初当選。現在、3期目。
公明党県議団副団長／議会運営委員会／観光審議会委員／
国際文化観光・スポーツ常任委員会／安全安心なまちづくり特別委員会



ホームページ
http:// 西村くにこ .com/
Facebook
https://www.facebook.com/
nishimura.kuniko

▲ホームページ　▲ Facebook

神奈川県議会報告

完成！リトルベビーハンドブック!!

神奈川県は早産などで小さく生まれた赤ちゃん（低出生体重児）の成長を記録できる「かながわリトルベビーハンドブック」を完成させ、９月から市町村や新生児集中治療室（ＮＩＣＵ）のある病院で配布を始めました。

「従来の母子健康手帳では小さく生まれた我が子の発育の記録を記載できなかった」との声を受け、私は、２０２１年の本会議代表質問で低体重児のための母子手帳のサブブック「リトルベビーハンドブック」を提案。約２年かけて結実しました。

当事者目線！愛情あふれる待望の１冊

神奈川県ではまず、当事者や医師・看護師・保健師・助産師等の有識者が参加する検討会を設置。低出生体重児の保護者へのアンケートを実施し、寄せられた約３０００人の声を分析しました。パパ・ママに寄り添い、少しでも不安が軽減されるハンドブックとなるよう、言葉遣いや表現にも配慮を重ねました。デザインも、当事者であるママたちが提案。イラストの位置やページの色合いなど細部にまで思いが込められています。

８月３１日、県庁において、黒岩祐治知事から、ハンドブックの必要性を訴えた「かながわリトルベビーサークル Pena」のメンバーに『最初の１冊』が手渡されました。ママたちと一緒に格闘してきた私も同席させていただき、感動を共有することができました。

子育てしやすい「神奈川」をめざして！

２０２１年度、神奈川県では５３６６人の低出生体重児が誕生しています。これは、出生数全体の約１割に当たり、そのうち４８２人が、従来の母子健康手帳では発育過程の記載が難しい１５００グラム未満の極低出生体重児です。

１１月１７日は世界早産児デー。１１月１７日～１９日までの３日間、Ｐｅｎａ主催によるリトルベビー写真展（あーすぷらざ　ＪＲ根岸線「本郷台駅」徒歩３分）のほか、県内各地で低出生体重児とそのご家族への理解促進のためのイベントが開催される予定です。

私も、このハンドブック完成をゴールとせず、ママたちに伴走して、子育てしやすい、子育てが楽しい「神奈川県」を構築してまいります。



黒岩知事と Pena のメンバー右端が西村
８月３１日県庁にて

ハンドブックは県のＨＰ（二次元コードからアクセス）からダウンロードできます。